

委員会報告

平成22年度消化器がん検診全国集計

Ⅰ. 胃がん検診全国集計

Ⅱ. 大腸がん検診全国集計

Ⅲ. 食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

日本消化器がん検診学会全国集計委員会

北川 晋二, 宮川 国久, 入口 陽介, 小川 眞広,
小林 正夫, 長田 裕典, 丹羽 康正, 藤谷 幹浩,
松浦 隆志, 松田 徹

はじめに

全国集計委員会が担当する全国集計は、今回でその28回目にあたる。平成22年度の調査は調査票を送付する方法に加え、コンピューター入力用プログラムを送付しCD-Rディスクにて回答を求めする方法も行った。

Ⅰ 胃がん検診全国集計成績

1. 胃がん検診全国集計対象機関の区分と機関別受診者

検診機関を区分別にみると、検診の統計をよく行っているⅠ群の割合は、間接がん検診機関では208カ所中178カ所（85.6%）、直接がん検診では159カ所中131カ所（82.4%）、デジタルがん検診では225カ所中195カ所（86.7%）であった（表1）。

平成22年度の受診者総数は、6,939,489人で、発見胃癌の実数は5,545例（0.080%）であった。精検受診率を100%とした場合の推定発見胃癌数9,297例（0.134%）であった（表2）。

胃がん検診の受診者総数の年次別推移をみると、図1に示すように平成22年度の受診者総数は、前年度と比べ約1万人、0.2%減少した。

2. 撮影方法

胃X線撮影法について検診機関数を分母にしてみると、撮影枚数は間接がん検診では6枚の機関はなく、7枚が17.3%、8枚以上が76.9%で、増加傾向を示し、学会の勧告した標準枚数がかかなり定着していると考えられた（図2-a）。200%以上のバリウムを用いている施設は、間接がん検診で78.4%、直接がん検診で78.1%、デジタルがん検診で83.1%を占めていた（図2-b）。バリウムの量は間接がん検診、直接がん検診、デジタルがん検診とも、131～150mlが最も多く使われており、少量の高濃度バリウムで検査する施設が増加していた（図2-c）。バリウムの濃度と量の関係を図2-dに示すが、負の相関を示した。

撮影者については、間接がん検診では、医師が撮影する機関は0.5%、技師が行う機関は92.7%、両者で撮影するもの1.0%であった。直接がん検診では医師が2.5%、技師は78.6%、両者が8.8%であった。デジタルがん検診では医師が0.9%、技師は90.2%、両者が2.7%であった（図2-e）。

3. 読影状況

読影状況についてみると、ダブルチェックを行っていない機関が間接がん検診で6.3%、直接が

表1 胃がん検診全国集計対象機関の区分（平成22年度）

	機関数		
	1) 間接がん検診	2) 直接がん検診	3) デジタルがん検診
性・年齢別に受診者、要精検者、精検 Ⅰ群 受診者、発見胃癌患者が把握され、且 つ癌患者の個人票の揃っているもの	178 (85.6%)	131 (82.4%)	195 (86.7%)
Ⅱ群 性・年齢別に集計されていないもの 及び集計数のみ判明するもの	30 (14.4%)	28 (17.6%)	30 (13.3%)
計	208	159	225

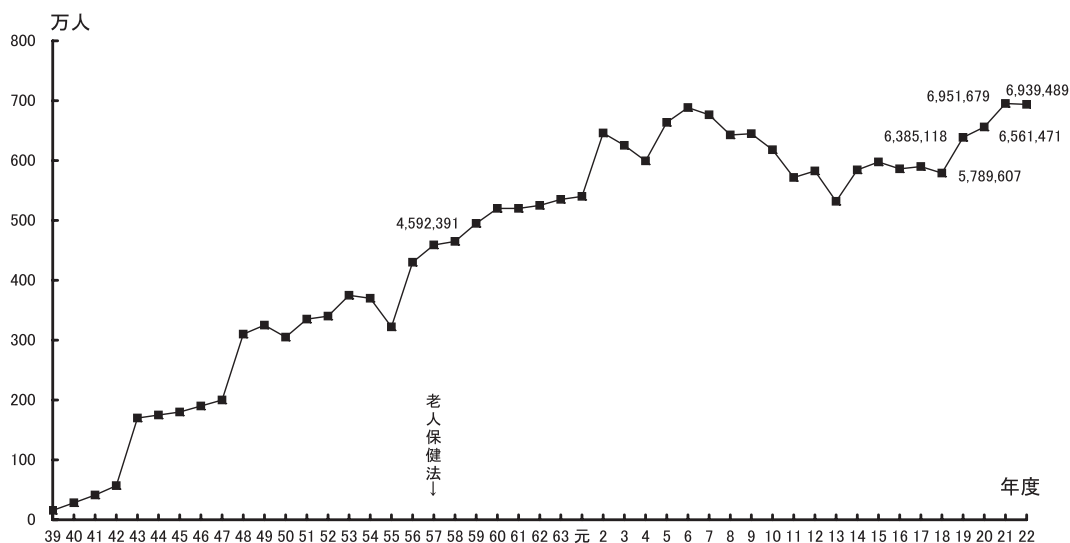
(注): 1)間接X線撮影による胃がん検診のこと
 2)直接X線撮影による胃がん検診のこと
 3)デジタルX線撮影による胃がん検診のこと

表2 対象機関別受診者数と発見胃癌数
(平成22年度, 男女計, 間接, 直接, デジタルの合計)

区分	受診者数	発見胃癌数 (実数)	率	(推定数)	(推定率)
Ⅰ群	6,321,516	5,535	0.088%	8,589	0.136%
Ⅱ群	617,973	10	0.002%	493	0.080%
総計	6,939,489	5,545	0.080%	9,297	0.134%

* 推定率は各群の精検受診率(Ⅰ群64.4%、Ⅱ群2.0%)を100とした場合、未受診者も
 受診者と同じ率で、胃癌が発見されるものとして算出したもの

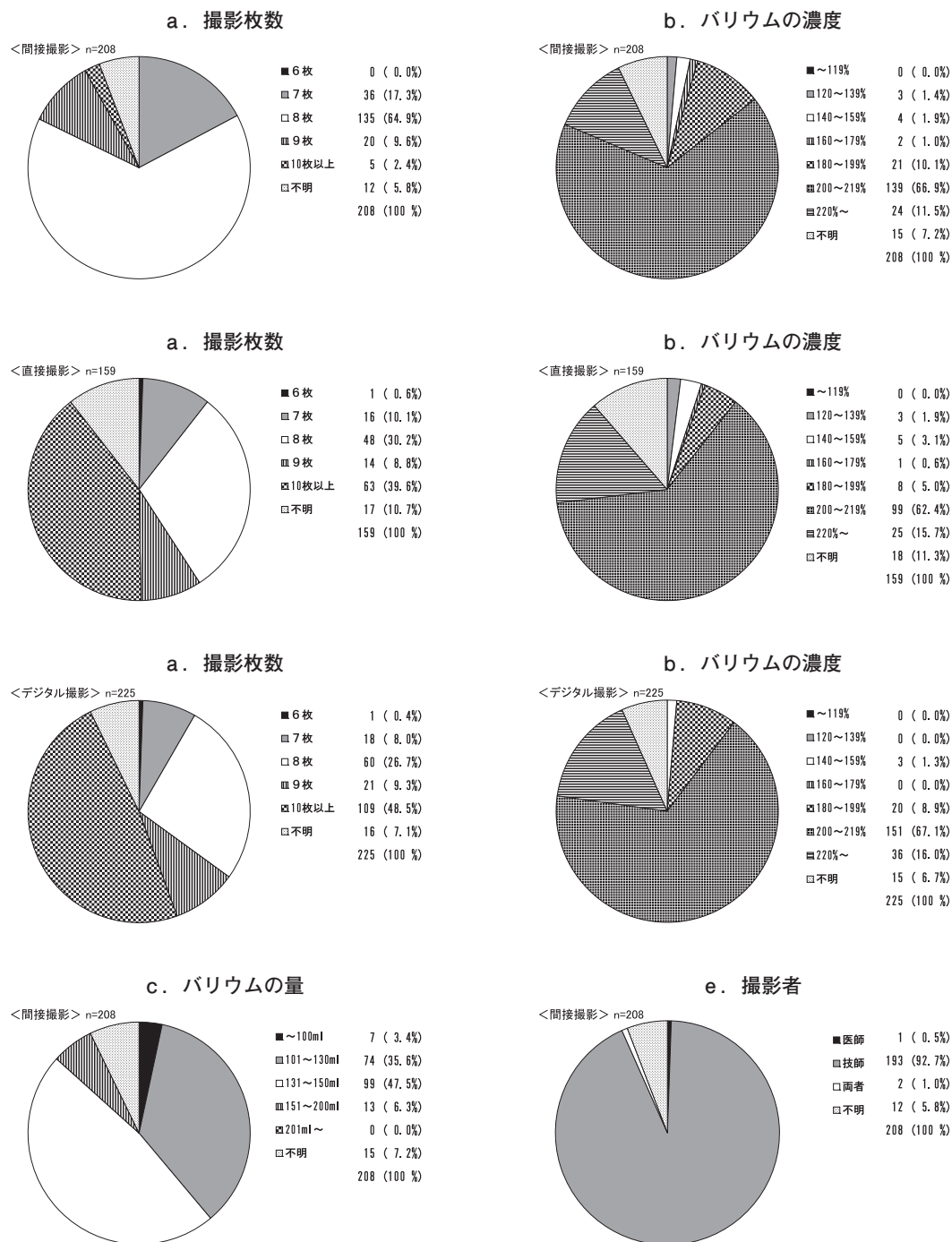
図1 胃がん検診の年度別集計対象数の推移（昭和39年度～平成22年度学会による全国集計）



ん検診で10.1%，デジタルがん検診で13.3%あった（図3 - a）。認定医の有無についてみると、間接がん検診を行っている検診機関では62.5%，

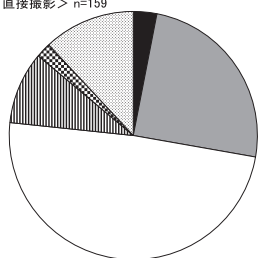
直接がん検診の機関では，55.3%，デジタルがん検診の機関では，62.6%に認定医がいるという状況であった（図3 - b）。

図2 撮影方法



c. バリウムの量

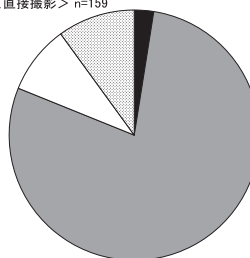
<直接撮影> n=159



■ ~100ml	5 (3.1%)
▨ 101~130ml	39 (24.5%)
□ 131~150ml	78 (49.2%)
▩ 151~200ml	15 (9.4%)
▨ 201ml~	3 (1.9%)
□ 不明	19 (11.9%)
	159 (100 %)

e. 撮影者

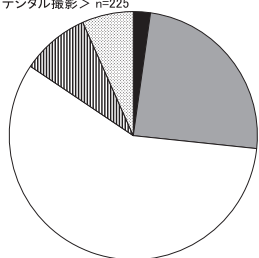
<直接撮影> n=159



■ 医師	4 (2.5%)
▨ 技師	125 (78.6%)
□ 両者	14 (8.8%)
□ 不明	16 (10.1%)
	159 (100 %)

c. バリウムの量

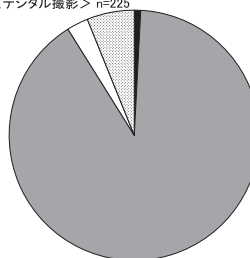
<デジタル撮影> n=225



■ ~100ml	5 (2.2%)
▨ 101~130ml	55 (24.4%)
□ 131~150ml	130 (57.8%)
▩ 151~200ml	20 (8.9%)
▨ 201ml~	0 (0.0%)
□ 不明	15 (6.7%)
	225 (100 %)

e. 撮影者

<デジタル撮影> n=225

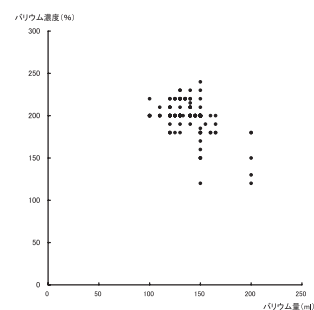


■ 医師	2 (0.9%)
▨ 技師	203 (90.2%)
□ 両者	6 (2.7%)
□ 不明	14 (6.2%)
	225 (100 %)

d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

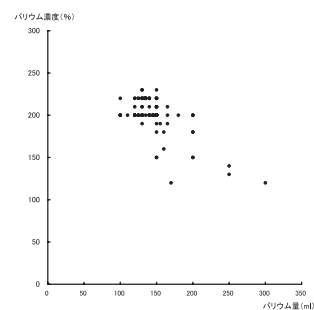
<間接撮影> d. バリウムの濃度と量



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

<直接撮影> d. バリウムの濃度と量



d. バリウムの濃度と量

図2 撮影方法

<デジタル撮影> d. バリウムの濃度と量

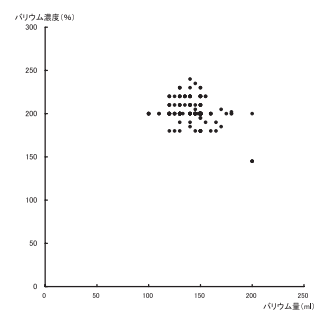


図3 読影状況

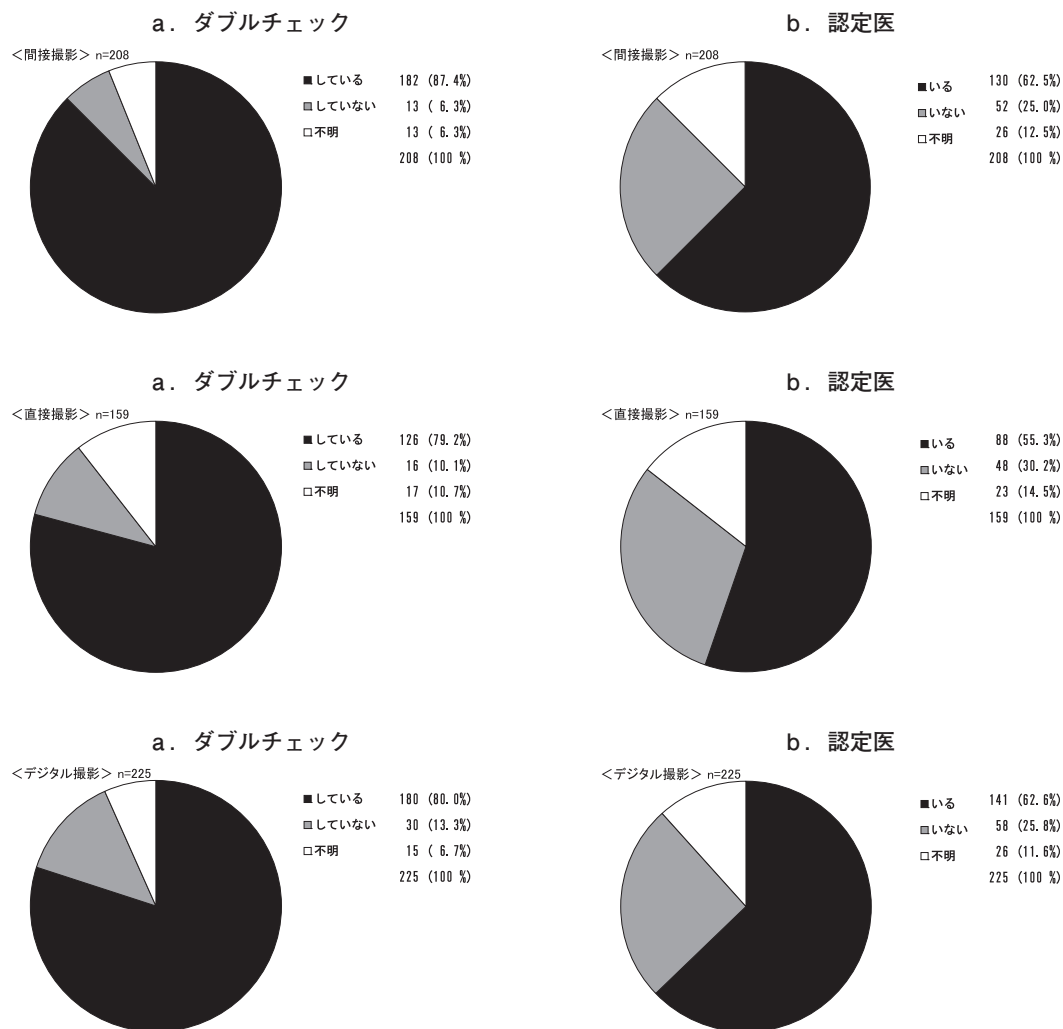


表3 地域・職域検診別の検診成績

(Ⅰ, Ⅱ群, 間接・直接・デジタルがん検診, 男女合計, 平成22年度)

	地域検診	職域検診	計
検 診 数	2,615,093	3,340,637	5,955,730
要 精 検 者 数	243,906	208,835	452,741
要 精 検 率	9.3 %	6.3 %	7.6 %
精検受診者数	191,849	86,733	278,582
精 検 受 診 率	78.7 %	41.5 %	61.5 %
発 見 胃 癌 数	4,061	980	5,041
発 見 率	0.155 %	0.029 %	0.085 %

図4 精検以後の管理

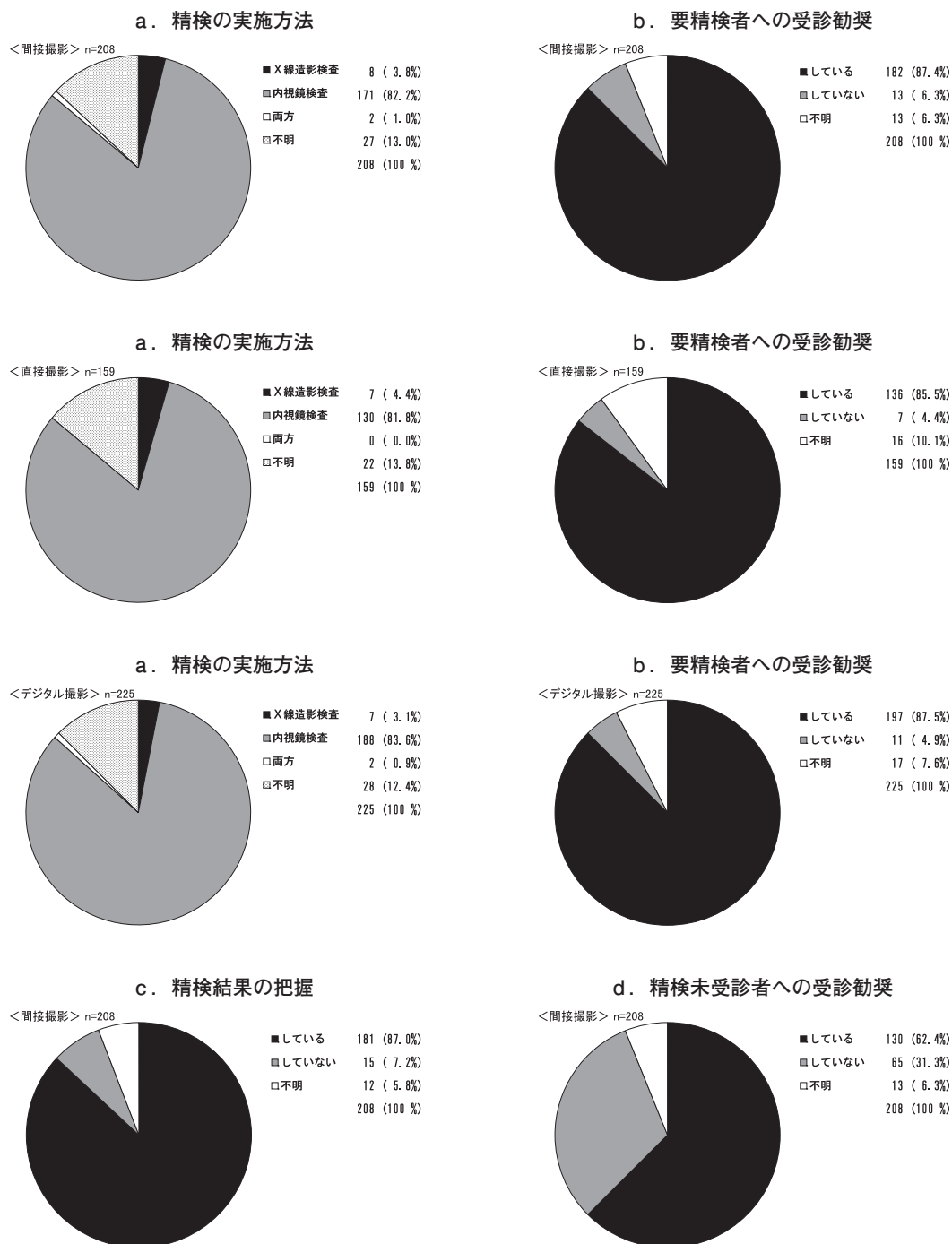


図4 精検以後の管理

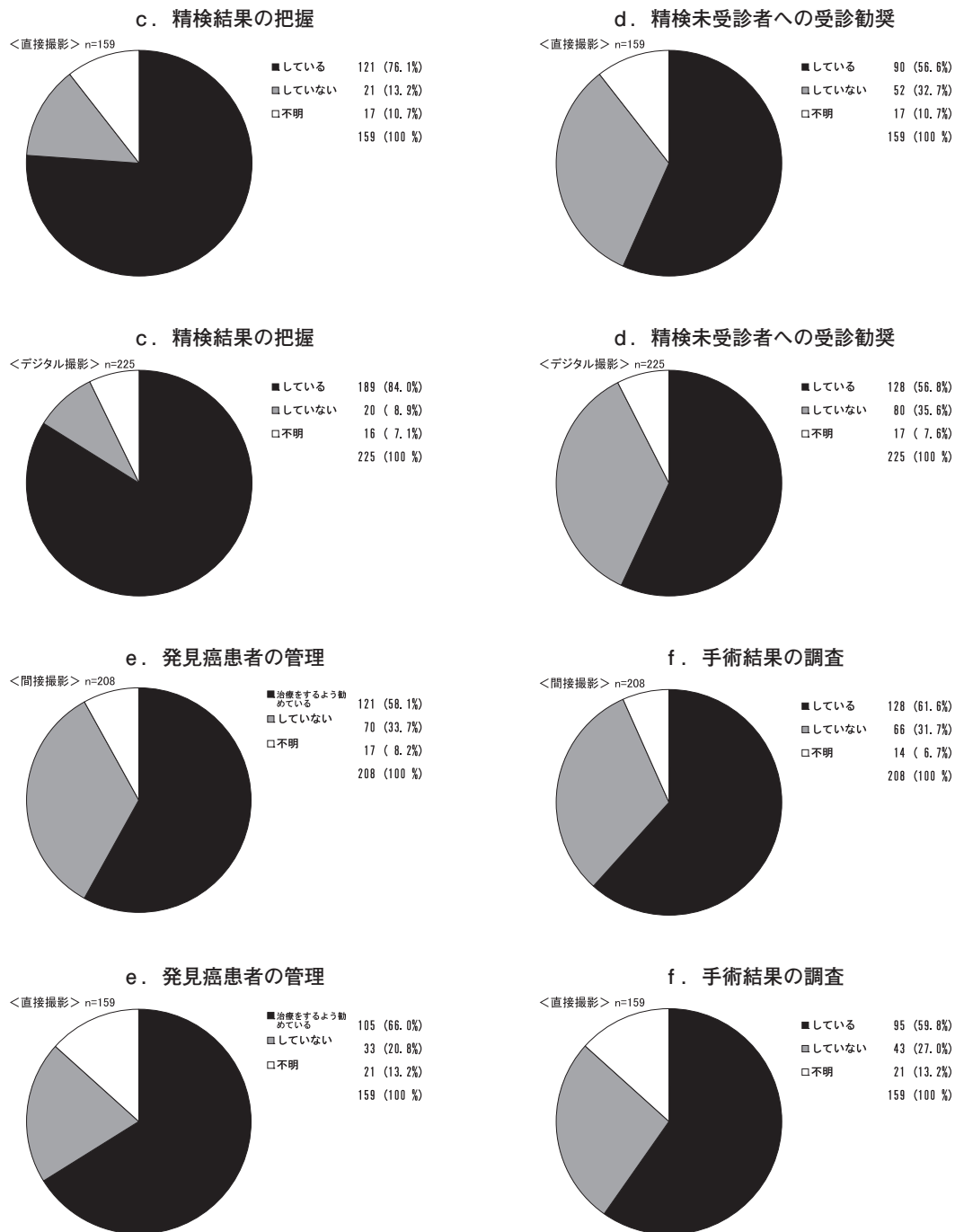
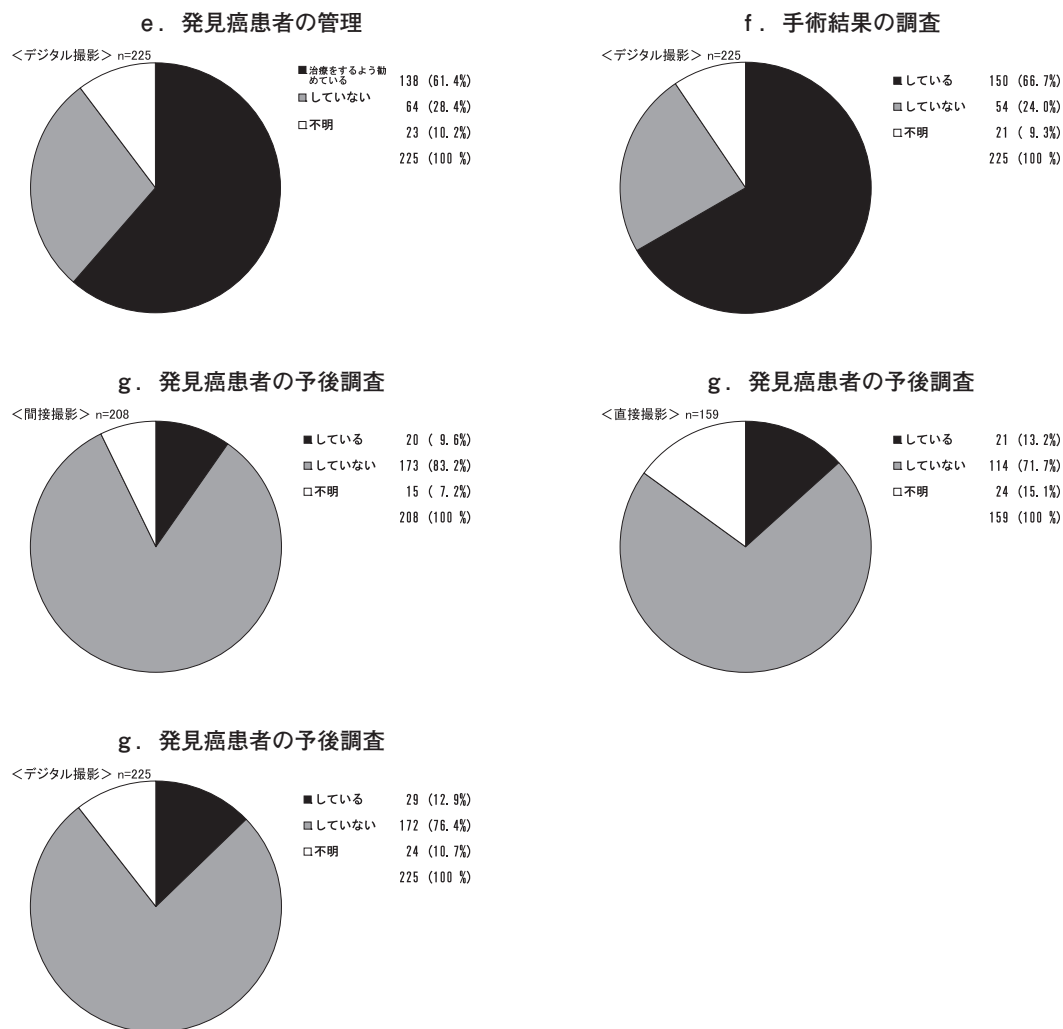


図4 精検以後の管理



4. 精検以後の管理

精検以後の管理の方法について、間接がん検診の場合について述べると、精検の実施方法では、X線検査であるもの3.8%、内視鏡検査であるもの82.2%、X線検査と内視鏡検査両方を施行しているのは1.0%であった。要精検者に対する受診勧奨をしているのは87.4%（図4-b）、精検結果の把握をしているところは87.0%（図4-c）、精検未受診者への受診勧奨を行っているのは62.4%（図4-d）、発見胃癌患者への治療の勧奨を

積極的に進めているところは58.1%（図4-e）、手術結果の調査をしているところは61.6%（図4-f）、またその予後調査をしているところは9.6%であった（図4-g）。直接がん検診の場合は、発見癌患者への治療の勧奨をしているところが66.0%、手術結果の調査をしているところは59.8%、患者の予後調査をしているところは13.2%であった。デジタルがん検診の場合は、発見癌患者への治療の勧奨をしているところが61.4%、手術結果の調査をしているところは66.7%、患者の予

表4 地域・職域・人間ドック検診別の検診成績
(Ⅰ, Ⅱ群, 間接がん検診, 男女合計, 平成22年度)

	地域検診	職域検診	人間ドック	計
検 診 数	1,589,933	1,341,516	16,869	2,948,318
要 精 検 者 数	143,515	82,655	1,644	227,814
要 精 検 率	9.0 %	6.2 %	9.7 %	7.7 %
精検受診者数	114,072	35,505	986	150,563
精 検 受 診 率	79.5 %	43.0 %	60.0 %	66.1 %
発 見 胃 癌 数	2,344	355	9	2,708
発 見 率	0.147 %	0.026 %	0.053 %	0.092 %

表5 間接・直接・デジタルがん検診別の検診成績
(Ⅰ, Ⅱ群, 男女合計, 平成22年度)

	間接がん検診	直接がん検診	デジタルがん検診	計
検 診 数	2,954,253	949,714	3,035,522	6,939,489
要 精 検 者 数	228,537	71,112	218,474	518,123
要 精 検 率	7.7 %	7.5 %	7.2 %	7.5 %
精検受診者数	151,050	33,945	124,029	309,024
精 検 受 診 率	66.1 %	47.7 %	56.8 %	59.6 %
発 見 胃 癌 数	2,716	573	2,256	5,545
発 見 率	0.092 %	0.060 %	0.074 %	0.080 %

図5 性・年齢階級別受診者数 (平成22年度)
(地域, 職域, 直接・間接・デジタル合計)

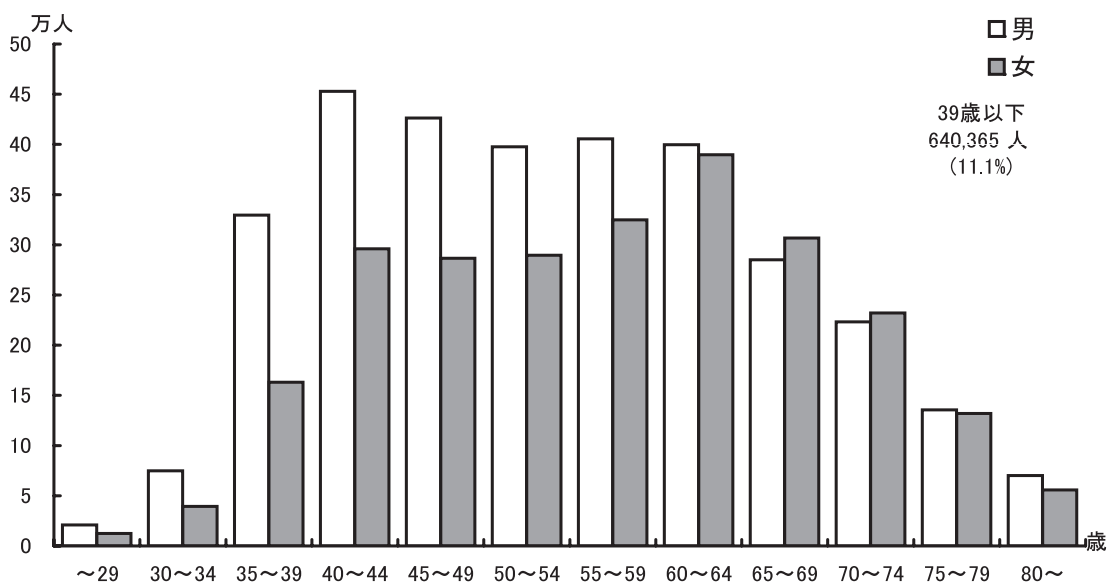


表6 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—男性—直接・間接・デジタル、地域・職域・個別検診、
人間ドック合計（平成22年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	3,235,409	20,927	74,941	329,522	452,867	426,337	397,684	405,619	399,612	285,012	223,270	135,486	70,185	13,947
B 要精検者数	278,483	581	2,413	12,650	22,055	26,930	33,763	41,250	46,062	34,556	28,655	17,998	9,489	2,081
B/A %	8.61 %	2.78 %	3.22 %	3.84 %	4.87 %	6.32 %	8.49 %	10.17 %	11.53 %	12.12 %	12.83 %	13.28 %	13.52 %	14.92 %
C 精検受診者数	166,933	260	1,105	5,707	10,419	12,824	16,388	21,238	27,690	24,652	22,543	14,764	7,733	1,610
C/B %	59.94 %	44.75 %	45.79 %	45.11 %	47.24 %	47.62 %	48.54 %	51.49 %	60.11 %	71.34 %	78.67 %	82.03 %	81.49 %	77.37 %
D 胃癌	3,833	0	1	15	33	72	152	336	654	746	804	594	371	55
D/A %	0.118 %	0.000 %	0.001 %	0.005 %	0.007 %	0.017 %	0.038 %	0.083 %	0.164 %	0.262 %	0.360 %	0.438 %	0.529 %	0.394 %
非上皮性悪性腫瘍	60	0	0	2	3	0	3	3	13	13	9	6	7	1
胃腺腫（異型上皮）	763	0	0	5	5	10	20	60	132	131	159	130	103	8
胃ポリープ	20,077	24	146	846	1,326	1,544	1,701	2,316	3,065	2,980	2,918	1,985	1,006	220
胃潰瘍	24,075	13	88	608	1,312	1,879	2,784	3,839	4,613	3,485	2,793	1,605	844	212
その他の胃良性疾病患	71,769	83	390	2,160	4,112	5,185	6,882	8,855	11,964	11,128	10,226	6,783	3,404	597
異常なし	29,815	102	337	1,361	2,402	2,596	2,982	3,710	4,537	3,974	3,702	2,447	1,342	323

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表7 性・年齢別胃がん検診全国集計成績—女性—直接・間接・デジタル、地域・職域・個別検診、
人間ドック合計（平成22年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,540,844	12,468	39,408	163,099	296,041	286,563	289,618	324,814	389,760	306,796	232,053	131,891	55,764	12,569
B 要精検者数	170,767	299	1,138	5,868	12,982	14,659	17,650	22,060	29,589	25,517	20,801	12,859	5,965	1,380
B/A %	6.72 %	2.40 %	2.89 %	3.60 %	4.39 %	5.12 %	6.09 %	6.79 %	7.59 %	8.32 %	8.96 %	9.75 %	10.70 %	10.98 %
C 精検受診者数	127,443	172	687	3,290	8,166	9,346	11,713	15,662	22,953	20,812	17,634	10,950	4,916	1,142
C/B %	74.63 %	57.53 %	60.37 %	56.07 %	62.90 %	63.76 %	66.36 %	71.00 %	77.57 %	81.56 %	84.77 %	85.15 %	82.41 %	82.75 %
D 胃癌	1,434	1	1	14	37	48	73	133	237	288	277	197	111	17
D/A %	0.056 %	0.008 %	0.003 %	0.009 %	0.012 %	0.017 %	0.025 %	0.041 %	0.061 %	0.094 %	0.119 %	0.149 %	0.199 %	0.135 %
非上皮性悪性腫瘍	42	0	0	0	4	1	2	5	10	5	6	5	4	0
胃腺腫（異型上皮）	279	0	1	0	1	2	10	18	49	43	62	55	37	1
胃ポリープ	29,282	35	207	1,220	2,977	2,910	2,846	3,375	4,737	4,152	3,495	2,168	924	236
胃潰瘍	8,669	3	22	110	342	599	885	1,210	1,668	1,391	1,176	798	390	75
その他の胃良性疾病患	51,523	41	193	874	2,317	2,998	4,306	6,345	9,920	9,377	7,863	4,788	2,050	451
異常なし	26,728	71	207	825	1,944	2,108	2,645	3,366	4,652	4,113	3,436	2,139	997	225

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

図6 地域検診の年齢階級別受診者数（平成22年度）（直接・間接・デジタル、男女合計）

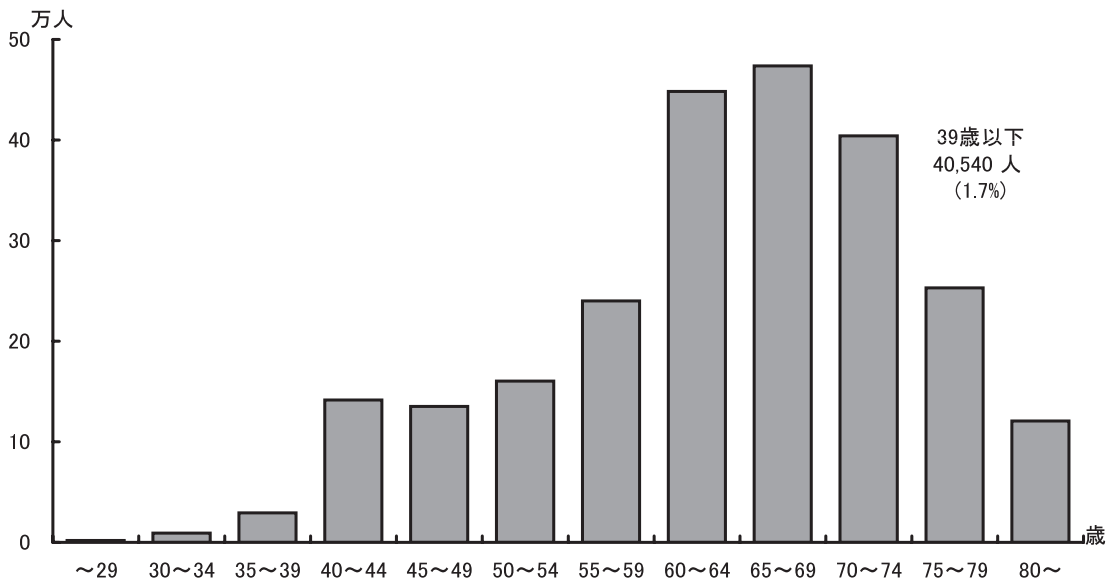


図7 職域検診の年齢階級別受診者数（平成22年度）（直接・間接・デジタル、男女合計）

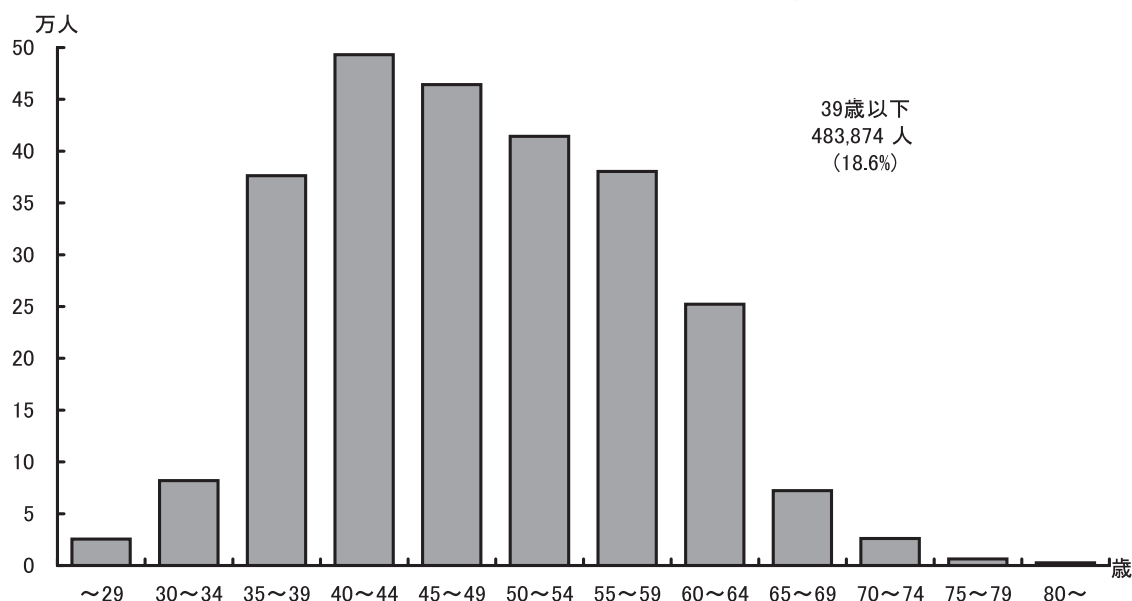


表8 発見疾患とその頻度（年次別推移）（男女計）

年 度		平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
胃疾患	A	5,477	5,302	5,268	5,494	5,304	4,732	4,790	5,272
	B	7,788	7,740	7,264	7,704	7,623	6,938	6,976	8,046
	B/C	0.15	0.15	0.14	0.14	0.15	0.14	0.15	0.14
胃ポリープ	A	56,970	57,874	57,831	56,987	51,438	46,397	43,350	49,603
	B	81,004	84,488	79,745	79,914	73,926	68,031	63,137	75,707
	B/C	1.58	1.65	1.55	1.49	1.42	1.33	1.33	1.30
胃潰瘍	A	41,998	39,542	39,574	39,221	33,399	30,760	31,218	32,873
	B	59,716	57,726	54,570	55,001	48,001	45,103	45,468	50,172
	B/C	1.17	1.12	1.06	1.02	0.92	0.88	0.96	0.86
受診者総数		5,111,185	5,132,087	5,133,307	5,370,924	5,221,232	5,125,322	4,755,413	5,837,975

*性別、5歳階級別に集計可能な受診者数を母数とした

A:実数、B:要精検者が全員精検を受診した場合の推定数、C:受診者総数

表9 治療の種類（平成22年度）

総 数	4,014
外 科 手 術	1,831
腹腔鏡下手術	738
内視鏡的治療	1,199
化 学 療 法	76
無 治 療	25
そ の 他	44
不 明	101

表10 手術の種類（平成22年度）

総 数	2,541
切 除 術	2,435
ポリープ摘除術	8
吻 合 術	9
単 開 腹	16
造 瘻	41
不 明	32

表11 根治度（平成22年度）

総 数	2,068
A	1,666
B	197
C	55
不 明	150

表12 癌病巣の数（平成22年度）

単 発	3,462
2 個	327
3 個	63
4個以上	25
不 明	77
合 計	3,954

表13 発見胃癌の占居部位Ⅰ（平成22年度）

部 位	病巣数	%
U	768	19.5
M	1,816	46.2
L	1,308	33.2
全 体	43	1.1
合 計	3,935	100.0

後調査をしているところは12.9%であった（図4－e～g）。

5. 地域・職域検診別および間接・直接がん検診別の成績

地域検診と職域検診に分けて検討すると、地域検診が2,615,093人、職域検診が3,340,637人で前者が43.9%を占めていた。地域検診と職域検診との精検受診率を比較してみると、各々78.7%と41.5%であり、両者に著しい差が認められ、職域検診の一次検診後の管理に依然として不備が感じられた。その結果、後述する職域検診での39歳以下の若年受診者の占める割合が多いこととあいまっ

表14 発見胃癌の占居部位Ⅱ（平成22年度）

部 位	病巣数	%
小 彎	1,489	38.3
大 彎	652	16.8
前 壁	691	17.8
後 壁	915	23.5
全 周	139	3.6
合 計	3,886	100.0

表15 発見胃癌の大きさ（平成22年度）

長径(cm)	病巣数	%
～1.0	432	12.0
1.1～2.0	958	26.6
2.1～5.0	1,664	46.1
5.1～	552	15.3
合 計	3,606	100.0

て、職域検診での胃癌発見率は0.029%と、地域検診の0.155%の5分の1であった（表3）。また間接がん検診について、地域、職域、人間ドック検診別に検討したものを表4に示した。

間接がん検診、直接がん検診、デジタルがん検診を比較すると、受診者数は間接がん検診が2,954,253人、直接がん検診が949,714人、デジタルがん検診が3,035,522人で、各々42.6%、13.7%、43.7%を占めた（表5）。要精検率は、各々7.7%、7.5%、7.2%と差は少なかったが、精検受診率は、各々66.1%、47.7%、56.8%と間接がん検診が高率であった。胃癌発見率は、各々0.092%、0.060%、0.074%と間接がん検診が高率であった。

6. 性・年齢階級別受診者数および疾患発見率

直接、間接、デジタル、地域、職域がん検診を合計した性・年齢階級別の受診者数を図5に示した。男の分布は女に比べ若年者が多かった。胃癌発見率は男で0.118%、女で0.056%、男が女の2

表16 切除胃癌の深達度別頻度（平成22年度）

総数	M	SM	MP	SS	SE	SI
3,709 (100.0 %)	1,733 (46.7 %)	1,064 (28.7 %)	294 (7.9 %)	337 (9.1 %)	251 (6.8 %)	30 (0.8 %)
	M + SM		MP + SS + SE + SI			
	2,797 (75.4 %)		912 (24.6 %)			

表17 Stage分類（平成22年度）

Stage	例 数	%
I A	2,425	64.1
I B	370	9.8
II A	222	5.9
II B	158	4.2
III A	141	3.7
III B	110	2.9
III C	46	1.2
IV	121	3.2
不明	190	5.0
計	3,783	100.0

表18 肉眼分類（平成22年度）

肉眼分類	例 数	%
O型	2,862	72.8
1型	123	3.1
2型	349	8.9
3型	385	9.8
4型	105	2.7
5型	106	2.7
計	3,930	100.0

表19 O型（表在型）の亜分類（平成22年度）

肉眼分類	例 数	%
I	128	4.5
II a	571	20.0
II a + II c	329	11.5
II b	52	1.8
II c	1,478	51.6
II c + III	81	2.8
II c + II a	76	2.7
III + II c	12	0.4
III	15	0.5
その他の組み合わせ	94	3.3
不明	26	0.9
計	2,862	100.0

倍以上の発見率であった。胃ポリープは男が0.62%，女が1.15%で，逆に女の方が1.9倍発見率は高かった。胃潰瘍は男が0.74%，女が0.34%で，男が2.2倍であった（表6，7）。

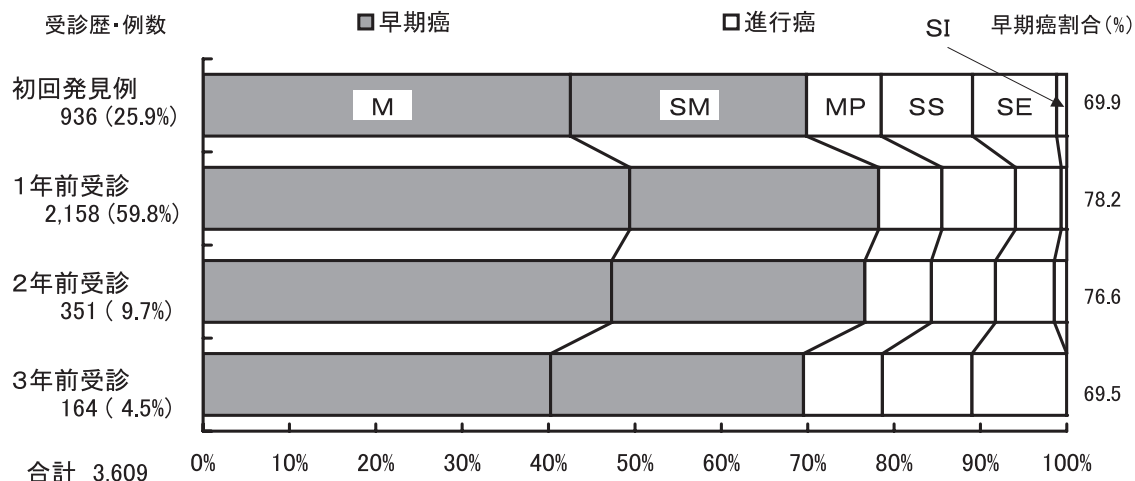
39歳以下の受診者は男女あわせて約64万人おり，これは全受診者数の11.1%を占めていた。これを地域と職域検診に分けてみると，地域検診では39歳以下は男女あわせて1.7%であった。一方，職域検診では39歳以下が18.6%と，若年層受診者の占める頻度は地域検診に比べ，11倍高かった（図6，7）。

7. 発見疾患の年次推移

表8は各胃疾患の発見率の年度別推移を表したものである。受診者総数（C）は，性別，5歳階

級別に各疾患の発見数と頻度が算出可能なものを分母として算出した。表のうち，Aは発見実数，Bは要精検者が全員精検を受診した場合の推定患者数で， B/C は推定発見率である。平成22年度の推定発見率は，胃癌0.14%，胃ポリープ1.30%，胃潰瘍0.86%であった。年度別の変化をみると胃

図8 発見胃癌例の検診受診歴と早期癌の頻度（平成22年度）

表20 内視鏡胃がん検診の全国集計成績
（平成22年度）

受診者総数	409,075 人
男	220,009 人 (53.8%)
女	189,066 人 (46.2%)
発見疾患と発見率	
胃がん	1,139 (0.28%)
（うち早期癌 844名）	(0.21%)
胃潰瘍	12,681 (3.10%)
胃ポリープ	45,691 (11.17%)

（年間500人以上実施し、集計可能な機関についての集計）

表21 大腸がん検診全国集計対象機関の区分
（平成22年度）

	機関数
I 群	233
II 群	42
計	275

表22 大腸がん検診の対象（重複回答）
（平成22年度）

地域	職域	個別	人間ドック	検診機関数
198 (72.0 %)	200 (72.7 %)	75 (27.3 %)	135 (49.1 %)	275

表23 大腸がん検診のScreeningの方法
（平成22年度）

(1) 検便法	152 (55.3 %)
(2) 検便法＋問診	135 (49.1 %)
(3) 直接法	31 (11.3 %)
検診機関数	275

癌の発見率はほぼ一定であった。

8. 発見胃癌患者の追跡調査

1) 手術成績

集計個票が全国集計委員会に送られてきた発見胃癌の治療の種類をみると、外科手術は4,014例

中1,831例（45.6%）、腹腔鏡下手術は738例（18.4%）、内視鏡的治療は1,199例（29.9%）に施行されていた。腹腔鏡下手術や内視鏡的治療の頻度は年々増加していた（表9）。手術の種類では2,541例中2,435例（95.8%）に切除術が施行され、根治度Aの切除は80.6%を占めていた（表10, 11）。多発癌は3,954例中415例（10.5%）を占めていた（表12）。

2) 占居部位

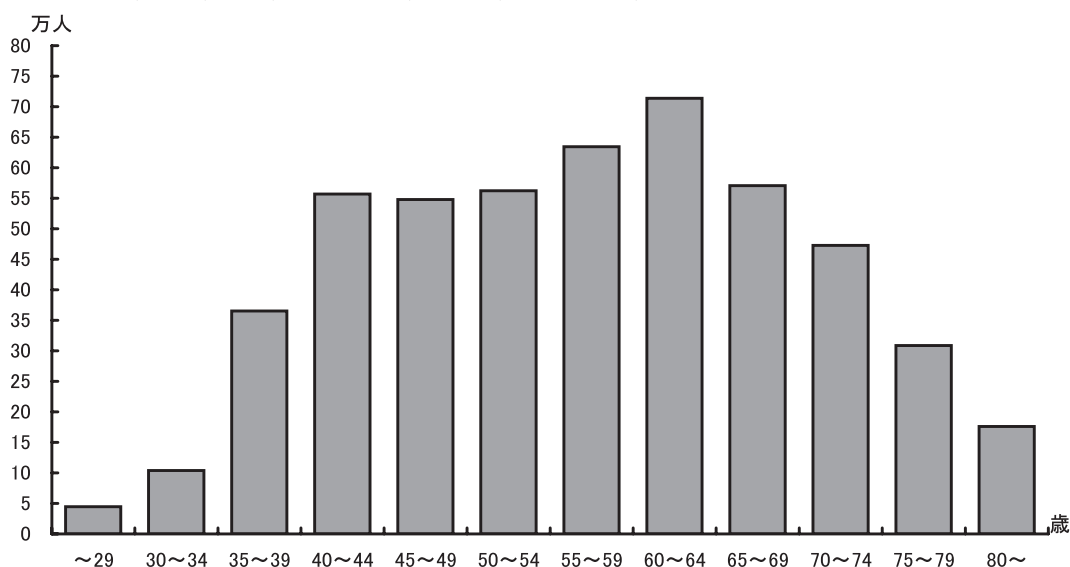
発見胃癌のUML区分でみた占居部位は、Uが19.5%、Mが46.2%、Lが33.2%であった（表

表24 大腸がん検診成績（男女計，平成22年度）

	地域	職域	個別	人間ドック	計
(1) 受診者数	2,699,264	2,715,223	87,551	764,458	6,266,496
(2) 要精検者数 (2) ÷ (1) (%)	181,321 (6.7 %)	134,519 (5.0 %)	5,946 (6.8 %)	42,871 (5.6 %)	364,657 (5.8 %)
(3) 精検受診者数 (3) ÷ (2) (%)	128,215 (70.7 %)	40,044 (29.8 %)	3,260 (54.8 %)	19,049 (44.4 %)	190,568 (52.3 %)
(4) 大腸癌患者数 (4) ÷ (1) (%)	5,659 (0.210 %)	1,069 (0.039 %)	185 (0.211 %)	505 (0.066 %)	7,418 (0.118 %)

図9 大腸がん検診受診者数の年齢階級別分布

(地域，職域，個別，人間ドック，男女計，平成22年度，総数5,056,880名)



13)。壁在性でみると小彎が38.3%で最も多く，次いで後壁が23.5%で，前年度とほぼ同様な傾向がみられた（表14）。

3) 大きさ

長径1cm以下の小胃癌が12.0%，1.1～2.0cmが26.6%で，あわせて38.6%であった（表15）。

4) 切除胃癌の深達度別割合

切除胃癌の深達度別頻度をみると，M癌が46.7%，SM癌が28.7%，あわせて75.4%であり，検診発見胃癌の約3/4は早期癌であった（表16）。

5) Stage分類

Stage I Aは64.1%と2/3を占め，Stage IVは3.2%であった（表17）。

6) 肉眼分類

0型（表在型）が72.8%と最も多く，そのうちⅡc型が51.6%と過半数を占めた。4型は2.7%であった（表18，19）。

7) 発見胃癌例の集検受診前歴

受診前歴の記載された胃癌3,609例について，集検受診歴区分でみると，初回発見例が全胃癌のうち25.9%を占め，1年前受診例，即ち2年連続受診で発見されたものが59.8%を占めた（図8）。

図10 大腸がん検診の要精検率および精検受診率
(地域、職域、個別、人間ドック、男女計、平成22年度)

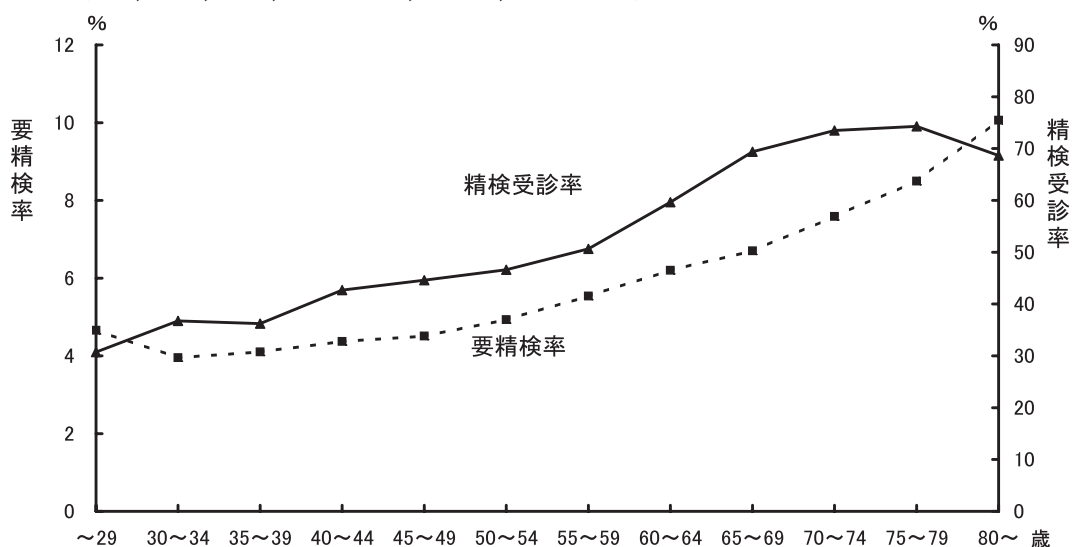
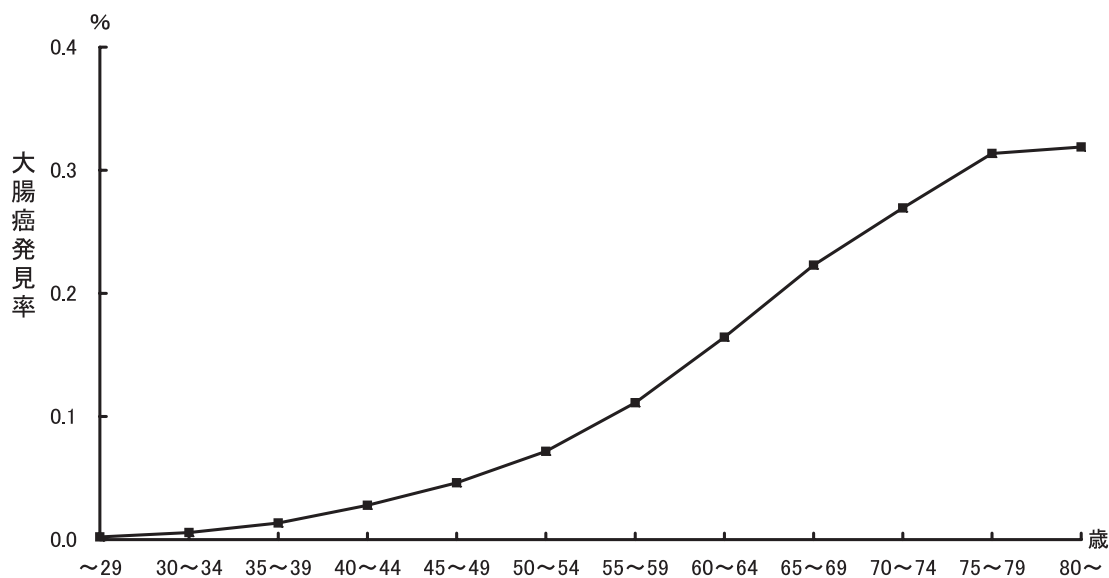


図11 大腸がん検診の大腸癌発見率
(地域、職域、個別、人間ドック、男女計、平成22年度)



各受診歴別に胃癌に占める早期胃癌の割合をみると、初回発見例が69.9%で、一年前、二年前、三年前の早期胃癌の割合は各々78.2%、76.6%、

69.5%であった。一年前あるいは二年前に受診歴のある例では、受診歴のない例に対して、統計学的有意差をもって、早期癌を高率に認めた(図8)。

図12 大腸がん検診における大腸ポリープ（腺腫）および非腺腫性ポリープの発見率
（地域、職域、個別、人間ドック、男女計、平成22年度）

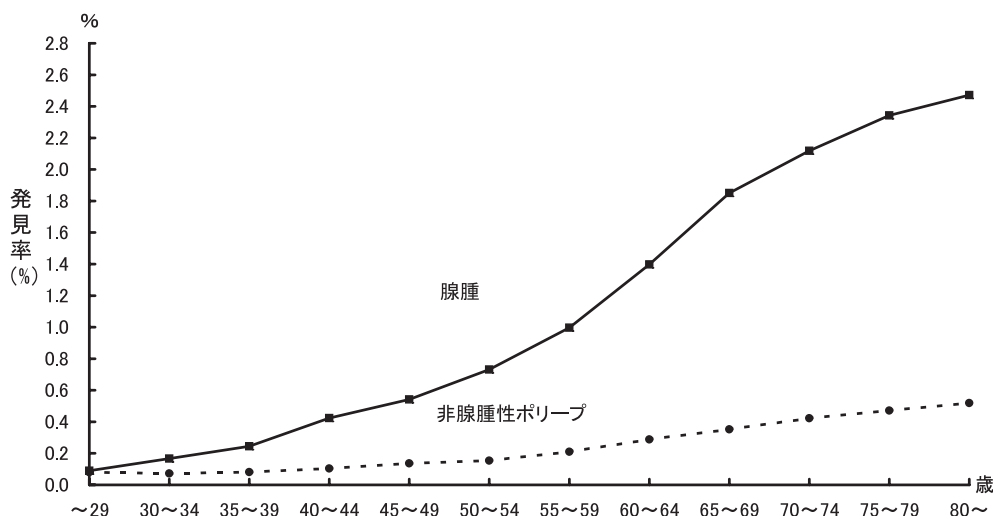


表25 大腸がん検診全国集計成績—男性—地域・職域・個別検診，人間ドック合計（平成22年度）

	総数	29以下	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,656,011	26,170	64,558	230,666	317,630	310,862	306,756	331,896	337,377	259,760	218,048	145,485	87,723	19,080
B 要精検者数	170,949	1,005	2,204	8,598	13,354	14,316	16,880	21,725	25,568	21,441	19,654	14,360	9,810	2,034
B/A %	6.44 %	3.84 %	3.41 %	3.73 %	4.20 %	4.61 %	5.50 %	6.55 %	7.58 %	8.25 %	9.01 %	9.87 %	11.18 %	10.66 %
C 精検受診者数	92,087	309	768	3,064	5,412	5,980	7,036	9,507	13,436	13,839	13,856	10,556	6,873	1,451
C/B %	53.87 %	30.75 %	34.85 %	35.64 %	40.53 %	41.77 %	41.68 %	43.76 %	52.55 %	64.54 %	70.50 %	73.51 %	70.06 %	71.34 %
D 大腸癌	4,257	1	5	29	73	150	245	439	722	774	800	580	344	95
D/A %	0.160 %	0.004 %	0.008 %	0.013 %	0.023 %	0.048 %	0.080 %	0.132 %	0.214 %	0.298 %	0.367 %	0.399 %	0.392 %	0.498 %
カルチノイド	39	0	0	1	4	1	5	4	12	6	2	2	2	0
腺腫性ポリープ	38,340	22	111	621	1,591	2,087	2,787	4,169	6,207	6,616	6,194	4,489	2,722	724
非腺腫性ポリープ	7,527	25	44	204	370	497	557	839	1,168	1,180	1,159	871	561	52
潰瘍性大腸炎	870	12	24	107	150	112	83	75	104	67	67	40	23	6
クローン氏病	41	1	1	8	7	6	5	8	1	2	0	1	0	1
大腸憩室	6,135	6	32	133	315	357	441	602	872	864	975	801	574	163
その他良性疾病	8,432	52	123	446	672	647	653	774	1,030	1,113	1,182	970	623	147
異常なし	22,197	155	352	1,308	1,953	1,746	1,865	2,108	2,717	2,690	2,952	2,397	1,751	203

*70歳以上にさらに年齢区分をしないもの

9. 内視鏡胃がん検診の全国集計成績

一次スクリーニングとして内視鏡を用いた，いわゆる内視鏡胃がん検診は，X線撮影法による胃がん検診のような受診者の性年齢区分をした詳細ながん検診成績の回答は求めず，前年度と同様簡単な集計にとどめた。対象も前年度と同様に，年間500人以上の内視鏡胃がん検診を施行した機関のみに限定した。このような条件で集計すると，内視鏡胃がん検診の受診者総数は409,075人，発見胃癌1,139例（発見率0.28%），うち早期癌は844例（74.1%）を占めた。胃癌発見率は高率であった（表20）。

II 大腸がん検診全国集計

平成22年度に実施された大腸がん検診の全国集計調査に回答を寄せた機関は275ヵ所で，検診の統計をよく行っているI群の割合は84.7%であった（表21）。

1. 大腸検診の受診対象

大腸検診の受診対象は表22に示すように重複回答であるが，地域検診は72.0%，職域検診は72.7%，個別検診は27.3%，人間ドックは49.1%で行われていた。

表26 大腸がん検診全国集計成績—女性—地域・職域・個別検診，人間ドック合計（平成22年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	2,445,071	18,476	39,414	134,490	239,353	236,894	255,479	302,556	376,471	310,894	254,643	163,093	88,186	25,122
B 要精検者数	128,419	1,075	1,909	6,378	10,994	10,388	10,838	13,410	18,688	16,802	16,221	11,862	7,889	1,965
B/A %	5.25 %	5.82 %	4.84 %	4.74 %	4.59 %	4.39 %	4.24 %	4.43 %	4.96 %	5.40 %	6.37 %	7.27 %	8.95 %	7.82 %
C 精検受診者数	81,360	330	743	2,359	4,978	5,035	5,888	8,289	12,959	12,699	12,506	8,923	5,278	1,373
C/B %	63.36 %	30.70 %	38.92 %	36.99 %	45.28 %	48.47 %	54.33 %	61.81 %	69.34 %	75.58 %	77.10 %	75.22 %	66.90 %	69.87 %
D 大腸癌	2,739	0	1	20	82	103	158	266	452	498	473	388	217	81
D/A %	0.112 %	0.000 %	0.003 %	0.015 %	0.034 %	0.043 %	0.062 %	0.088 %	0.120 %	0.160 %	0.186 %	0.238 %	0.246 %	0.322 %
カルチノイド	28	1	0	1	2	5	2	1	6	6	4	0	0	0
腺腫性ポリープ	21,960	18	63	272	766	881	1,325	2,156	3,774	3,946	3,821	2,739	1,626	573
非腺腫性ポリープ	4,942	11	32	93	212	251	311	492	893	829	840	583	352	43
潰瘍性大腸炎	617	6	16	66	85	63	56	61	76	72	57	39	17	3
クローン氏病	13	1	0	0	1	1	1	3	1	2	2	1	0	0
大腸憩室	5,343	3	17	76	171	200	283	505	812	910	924	817	489	136
その他良性疾患	9,476	48	85	337	727	678	721	943	1,468	1,371	1,422	972	515	189
異常なし	31,963	210	462	1,275	2,563	2,526	2,667	3,367	4,888	4,518	4,442	2,988	1,795	262

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表27 地域大腸がん検診全国集計成績—男性—（平成22年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	980,255	1,938	3,993	9,440	39,061	40,416	50,269	73,313	151,521	192,679	187,457	135,600	83,142	11,426
B 要精検者数	81,651	98	156	378	2,064	2,158	3,108	5,089	11,598	16,134	16,921	13,425	9,266	1,256
B/A %	8.33 %	5.06 %	3.91 %	4.00 %	5.28 %	5.34 %	6.18 %	6.94 %	7.65 %	8.37 %	9.03 %	9.90 %	11.14 %	10.99 %
C 精検受診者数	56,499	41	87	192	1,121	1,203	1,773	3,096	7,721	11,294	12,413	10,010	6,566	982
C/B %	69.20 %	41.84 %	55.77 %	50.79 %	54.31 %	55.75 %	57.05 %	60.84 %	66.57 %	70.00 %	73.36 %	74.56 %	70.86 %	78.18 %
D 大腸癌	3,100	0	1	2	16	49	88	177	435	652	723	561	333	63
D/A %	0.316 %	0.000 %	0.025 %	0.021 %	0.041 %	0.121 %	0.175 %	0.241 %	0.287 %	0.338 %	0.386 %	0.414 %	0.401 %	0.551 %
カルチノイド	20	0	0	1	0	0	1	1	5	6	2	2	2	0
腺腫性ポリープ	24,675	3	13	38	322	396	637	1,318	3,596	5,406	5,583	4,252	2,604	507
非腺腫性ポリープ	4,776	5	3	14	81	110	150	297	713	975	1,047	827	537	17
潰瘍性大腸炎	294	1	1	5	25	13	14	16	46	51	57	39	22	4
クローン氏病	8	0	0	0	0	1	0	3	1	2	0	1	0	0
大腸憩室	3,961	1	4	6	61	59	101	182	483	707	857	755	543	102
その他良性疾患	5,009	11	8	28	147	137	182	288	609	926	1,087	934	606	46
異常なし	12,880	18	50	81	425	379	541	732	1,598	2,222	2,657	2,306	1,688	183

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

表28 地域大腸がん検診全国集計成績—女性—（平成22年度）

	総 数	29以下	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80以上	70以上*
A 検診受診者数	1,470,046	2,030	4,879	12,700	79,395	79,863	101,290	156,960	275,642	268,001	234,306	155,963	84,306	14,711
B 要精検者数	84,662	134	283	670	4,143	3,973	4,714	7,326	13,768	14,594	14,937	11,346	7,490	1,284
B/A %	5.76 %	6.60 %	5.80 %	5.28 %	5.22 %	4.97 %	4.65 %	4.67 %	4.99 %	5.45 %	6.37 %	7.27 %	8.88 %	8.73 %
C 精検受診者数	62,659	57	168	388	2,487	2,523	3,251	5,429	10,547	11,459	11,704	8,599	5,052	995
C/B %	74.01 %	42.54 %	59.36 %	57.91 %	60.03 %	63.50 %	68.96 %	74.11 %	76.61 %	78.52 %	78.36 %	75.79 %	67.45 %	77.49 %
D 大腸癌	2,278	0	1	5	44	62	86	175	380	444	452	369	208	52
D/A %	0.155 %	0.000 %	0.020 %	0.039 %	0.055 %	0.078 %	0.085 %	0.111 %	0.138 %	0.166 %	0.193 %	0.237 %	0.247 %	0.353 %
カルチノイド	17	0	0	0	1	3	2	1	3	4	3	0	0	0
腺腫性ポリープ	17,882	1	13	53	380	456	704	1,410	3,057	3,569	3,575	2,659	1,572	433
非腺腫性ポリープ	4,030	3	5	17	121	122	184	338	760	764	797	564	341	14
潰瘍性大腸炎	366	1	1	9	43	21	28	33	56	64	54	37	17	2
クローン氏病	7	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	1	0	0
大腸憩室	4,359	2	2	11	81	108	153	321	659	807	864	776	473	102
その他良性疾患	7,112	8	18	47	364	354	415	623	1,194	1,228	1,351	956	503	51
異常なし	24,130	37	123	224	1,319	1,295	1,532	2,297	4,057	4,167	4,196	2,910	1,718	255

*70歳以上をさらに年齢区分をしていないもの

2. 大腸検診の実施方法

大腸検診のスクリーニングの方法は、検便法だけによるものが55.3%，検便法に問診を加えた方法が49.1%であった（表23）。

3. 大腸検診の成績

平成22年度に行われた全国の男女合計の受診者総数は6,266,496人で前年度に比べ約49万人（8.5%）増加していた。大腸癌発見数は7,418例（0.118%）であった。対象区分別にみると大腸癌の発見率は地域検診0.210%，職域検診0.039%，個別検

表29 検診発見大腸癌の受診前歴
(男女計, 平成22年度)

初回受診者	1,998 名	(36.1 %)
1年前 "	2,484 名	(44.9 %)
2年前 "	440 名	(7.9 %)
3年前 "	243 名	(4.4 %)
不 明	373 名	(6.7 %)
計	5,538 名	(100.0 %)

表30 過去3年間の, 検診での便潜血検査
受診回数 (男女計, 平成22年度)

0回	1,602 名	(32.6 %)
1回	707 名	(14.3 %)
2回	584 名	(11.8 %)
3回	915 名	(18.6 %)
4回以上	95 名	(1.9 %)
不明	1,028 名	(20.8 %)
計	4,931 名	(100.0 %)

表31 大腸検査受診歴
(男女計, 平成22年度)

なし	1,660 名	(34.8 %)
0～1年前受診	118 名	(2.5 %)
1～2年前受診	61 名	(1.3 %)
2～3年前受診	72 名	(1.5 %)
不明	2,856 名	(59.9 %)
計	4,767 名	(100.0 %)

診0.211%, 人間ドック0.066%であった(表24)。

地域, 職域, 個別, 人間ドック検診のうち, 年齢が5歳階級別に報告された男女合計5,056,880人

表32 大腸がんの既往歴
(男女計, 平成22年度)

なし	3,121 名	(66.1 %)
あり	42 名	(0.9 %)
不明	1,561 名	(33.0 %)
計	4,724 名	(100.0 %)

表33 大腸ポリープの既往歴
(男女計, 平成22年度)

なし	2,501 名	(53.0 %)
あり	287 名	(6.1 %)
不明	1,933 名	(40.9 %)
計	4,721 名	(100.0 %)

表34 大腸ポリープ切除の既往歴
(男女計, 平成22年度)

なし	2,537 名	(53.9 %)
あり	151 名	(3.2 %)
不明	2,020 名	(42.9 %)
計	4,708 名	(100.0 %)

について年齢別頻度を検討すると, 受診者数の年齢分布は50歳代と60歳代があわせて49.1%と半数を占めた。39歳以下は10.1%, また70歳以上は18.9%を占めた(図9)。要精検率をみると, ほぼ加齢に伴って上昇していた。精検受診率は, 胃がん検診に比較して低い傾向がみられた(図10)。

大腸癌発見率は加齢とともに上昇していた。とくに, 70歳代の発見率は, 全年齢層の平均の2.1倍であった(図11)。大腸腺腫の発見率は1.2%で, これは大腸癌の8.6倍の頻度であり, 発見率は加齢とともに上昇していた。非腺腫性ポリープの発見率は0.24%で, 大腸癌の1.8倍の発見率であった(図12)。

表35 治療の方法
(男女計, 平成22年度)

外科手術	1,630	(29.9 %)
腹腔鏡下手術	1,134	(20.7 %)
内視鏡的ポリペクトミー	1,050	(19.2 %)
内視鏡的粘膜切除 (含: 粘膜下層剥離術)	1,485	(27.1 %)
無治療	13	(0.2 %)
その他	47	(0.9 %)
不 明	112	(2.0 %)
計	5,471	(100.0 %)

表36 手術の種類
(男女計, 平成22年度)

結腸切除	1,660	(62.5 %)
直腸切除	618	(23.3 %)
直腸切断 (人工肛門造設)	77	(2.9 %)
その他	174	(6.6 %)
不 明	125	(4.7 %)
計	2,654	(100.0 %)

表37 癌病巣の数
(男女計, 平成22年度)

単発	4,920	(90.9 %)
2個	252	(4.7 %)
3個	41	(0.8 %)
4個以上	37	(0.7 %)
不明	157	(2.9 %)
計	5,407	(100.0 %)

性・年齢階級別の大腸がん検診全国集計成績を表25, 26に示した。受診者年齢層のピークは男女とも60歳代前半であった。大腸癌発見率は男0.160%, 女0.112%であった。

地域住民を対象とした大腸がん検診の全国集計成績を, 表27, 28に示した。男の受診者年齢層の

表38 癌病巣の部位
(男女計, 平成22年度)

部 位	例 数
肛 門 管 (P)	21 (0.4 %)
直 腸 (R)	1,161 (21.8 %)
直腸S状部 (RS)	495 (9.3 %)
S 状 結 腸 (S)	1,635 (30.6 %)
下 行 結 腸 (D)	292 (5.5 %)
横 行 結 腸 (T)	517 (9.7 %)
上 行 結 腸 (A)	866 (16.2 %)
盲 腸 (C)	339 (6.4 %)
虫 垂 (V)	4 (0.1 %)
計	5,330 (100.0 %)

表39 肉眼分類
(男女計, 平成22年度)

0型	3,298	(62.4 %)
1型	331	(6.3 %)
2型	1,486	(28.1 %)
3型	125	(2.4 %)
4型	6	(0.1 %)
5型	35	(0.7 %)
計	5,281	(100.0 %)

ピークは60歳代後半, 女は60歳代前半であった。大腸癌発見率は男0.316%, 女0.155%と高率であった。

4. 発見大腸癌の追跡調査成績

1) 集計個票の送られてきたがん検診発見大腸癌のうち, 36.1%は初回受診者, 44.9%は1年前受診者であった(表29)。

今回から, 新たに表30~34を追加した。過去3年間の検診での便潜血検査受診回数, 大腸検査受診歴, 大腸がんの既往歴, 大腸ポリープの既往歴, 大腸ポリープ切除の既往歴の5項目である。初めての集計であり, 今後の推移を見守りたい。

表40 O型（表在型）の肉眼分類
（男女計，平成22年度）

I p	752	(22.8 %)
I sp	1,047	(31.7 %)
I s	527	(16.0 %)
II a	488	(14.8 %)
II a+II c	220	(6.7 %)
II b	10	(0.3 %)
II c	69	(2.1 %)
その他	103	(3.1 %)
不 明	82	(2.5 %)
計	3,298	(100.0 %)

表41 大腸癌の大きさ（長径）
（男女計，平成22年度）

大きさ(cm)	病巣数	
～1.0	1,143	(23.4 %)
1.1～2.0	1,715	(35.0 %)
2.1～5.0	1,713	(35.0 %)
5.1～	321	(6.6 %)
計	4,892	(100.0 %)

表42 大腸癌の環周度
（男女計，平成22年度）

1/3 以下	2,799	(69.8 %)
1/2 以下	555	(13.8 %)
3/4 以下	283	(7.1 %)
3/4 以上	160	(4.0 %)
全 周	214	(5.3 %)
計	4,011	(100.0 %)

表43 大腸癌のStage分類
（男女計，平成22年度）

Stage O	1,535	(28.6 %)
Stage I	1,139	(21.2 %)
Stage II	580	(10.8 %)
Stage IIIa	456	(8.5 %)
Stage IIIb	127	(2.4 %)
Stage IV	111	(2.1 %)
不 明	1,413	(26.4 %)
計	5,361	(100.0 %)

表44 大腸癌の深達度
（男女計，平成22年度）

M	2,320	(43.4 %)
SM	1,020	(19.1 %)
MP	560	(10.5 %)
SS(A)	954	(17.9 %)
SE	278	(5.2 %)
SI(AI)	43	(0.8 %)
不明	168	(3.1 %)
計	5,343	(100.0 %)

表45 大腸癌のDukes分類
（男女計，平成22年度）

Dukes A	1,139	(37.4 %)
Dukes B	580	(19.1 %)
Dukes C	583	(19.2 %)
Dukes D	111	(3.7 %)
不 明	628	(20.6 %)
計	3,041	(100.0 %)

2) 治療の方法

外科手術は1,630例（29.9%）、腹腔鏡下手術は1,134例（20.7%）、内視鏡的ポリペクトミーは

1,050例（19.2%）、内視鏡的粘膜切除（含粘膜下層剝離術）は1,485例（27.1%）に行われた（表35）。

3) 手術の種類

表46 リンパ節転移の有無
(男女計, 平成22年度)

N0	3,525	(70.4 %)
N1	545	(10.9 %)
N2	164	(3.3 %)
N3	35	(0.7 %)
不明	734	(14.7 %)
計	5,003	(100.0 %)

表47 遠隔転移の有無
(男女計, 平成22年度)

なし	4,198	(83.9 %)
あり	125	(2.5 %)
不明	683	(13.6 %)
計	5,006	(100.0 %)

表48 大腸癌の組織型分類
(男女計, 平成22年度)

乳頭腺癌	(pap)	175	(3.3 %)
高分化管状腺癌	(tub1)	3,096	(58.7 %)
中分化管状腺癌	(tub2)	1,370	(26.0 %)
低分化腺癌	(por)	63	(1.2 %)
粘液癌	(muc)	58	(1.1 %)
印環細胞癌	(sig)	5	(0.1 %)
その他		125	(2.4 %)
不 明		381	(7.2 %)
計		5,273	(100.0 %)

手術のうち、結腸切除術が1,660例 (62.5%), 直腸切除術が618例 (23.3%), 人工肛門を造設した直腸切断術は77例 (2.9%) であった (表36)。

4) 癌病巣の数

単発は4,920例 (90.9%), 多発は330例 (6.2%) であった (表37)。

5) 占居部位

発見大腸癌の占居部位は5,330例中、最も多いのがS状結腸で1,635例 (30.6%), ついで直腸の

表49 食道がん検診の全国集計成績
(平成22年度)

受診者総数	927,601 人	
男	560,059 人	(60.4 %)
女	367,542 人	(39.6 %)
発見疾患と発見率		
食道癌	121 名	(0.01 %)
食道ポリープ	1,080 名	(0.12 %)
食道炎	22,255 名	(2.40 %)
バレット潰瘍	418 名	(0.05 %)
静脈瘤	578 名	(0.06 %)
その他の疾患	53,346 名	(5.75 %)

表50 肝胆膵検診の全国集計成績 (平成22年度)

受診者総数	1,124,385 人	
男	634,697 人	(56.4 %)
女	489,688 人	(43.6 %)
発見疾患と発見率		
肝癌(原発性)	78 名	(0.007 %)
肝癌(転移性)	37 名	(0.003 %)
肝硬変症	325 名	(0.03 %)
脂肪肝	216,008 名	(19.2 %)
肝嚢胞	158,588 名	(14.1 %)
胆嚢癌	51 名	(0.005 %)
胆嚢ポリープ	131,983 名	(11.7 %)
胆石症	39,634 名	(3.5 %)
膵癌	78 名	(0.007 %)
膵石症	775 名	(0.069 %)
膵嚢胞	5,514 名	(0.49 %)
腎癌	140 名	(0.012 %)

1,161例 (21.8%) であり (表38), 両者で過半数を占めた。

6) 大腸癌の肉眼分類

0型が3,298例 (62.4%) と最も多くみられた。そのうちI s p型が1,047例 (31.7%) で、IIc型は69例 (2.1%) のみであった。また2型が1,486例 (28.1%) と多く、4型は6例 (0.1%) のみであった (表39, 40)。

7) 大きさと環周度

直径1.0cm以下のもの1,143例 (23.4%), 1.1 ~ 2.0cmが1,715例 (35.0%) と2cm以下が過半数を占めた (表41)。環周度は1/3以下が2,799例 (69.8%) で2/3を占め、全周性が214例 (5.3%) に

認められた(表42)。

8) Stage分類

Stage 0 とStage I で2,674例(49.8%)と約1/2を占めた。StageIVは111例(2.1%)であった(表43)。

9) 深達度分類

Mは2,320例(43.4%), SMは1,020例(19.1%)であり、合計で62.5%と早期癌が全体の2/3を占めた。進行癌を深達度別にみると、MP560例(10.5%), SS(A) 954例(17.9%), SE278例(5.2%), SI(AI) 43例(0.8%)であった(表44)。

10) Dukes分類

DukesAは1,139例(37.4%)であった(表45)。

11) 転移の有無

リンパ節転移ありは5,003例中744例(14.9%)であった。遠隔転移ありは5,006例中125例(2.5%)であった(表46, 47)。

12) 組織型分類

病理組織検査を行った5,273例中、高分化管状腺癌が3,096例(58.7%)で最も多く、ついで、中分化管状腺癌が1,370例(26.0%)であった(表48)。

Ⅲ 食道がん検診および肝胆膵検診全国集計

1. 食道がん検診

食道がん検診の受診者総数は927,601人であった。また、発見食道癌は121例(0.01%), 食道ポ

リープ1,080例(0.12%), 食道炎22,255例(2.40%)であった(表49)。

2. 肝胆膵検診

肝胆膵検診の受診者総数は1,124,385人であった。発見疾患は、脂肪肝19.2%, 肝嚢胞14.1%, 胆嚢ポリープ11.7%, 胆石症3.5%であり、少数例ではあるが肝硬変症325例(0.03%), 原発性肝癌78例(0.007%), 転移性肝癌37例(0.003%), 胆嚢癌51例(0.005%), 膵癌78例(0.007%), 腎癌140例(0.012%)が発見された(表50)。

Ⅳ まとめ

平成22年度の消化器がん検診全国集計について要約すると以下ようになる。

(1) 胃がん検診については、受診者総数が6,939,489人で、前年度比-0.2%, 約1万人の減少、発見胃癌は5,545例(発見率0.080%)であった。地域検診は、全体の43.9%の約262万人であった。

(2) 大腸がん検診は全国で6,266,496人、前年度比+8.5%, 約49万人の増加、発見大腸癌7,418例(発見率0.118%)であった。

なお、アンケートの回答をおよせいただいた全国の検診機関、および学会の役職員や事務局の方々、各県の全国集計協力委員、認定医の先生方の絶大な協力に対して厚く御礼申し上げます。

表51

胃がん検診

		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 胃癌 発見数	E D票 回収数	B/A 要 精検率	C/B 精検 受診率	D/A 胃癌 発見率	D/B 適中度	E/D D票 回収率
		C I 票 間接、直接、デジタル撮影の合計				X線造影					
全 国		6,939,489	518,123	309,024	5,545	4,120	7.47	59.6	0.080	1.07	74.3
支 部 別	北海道	382,078	23,666	16,654	372	364	6.19	70.4	0.097	1.57	97.8
	東 北	1,045,495	91,682	68,837	1,245	1,150	8.77	75.1	0.119	1.36	92.4
	関東甲信越	1,922,437	151,634	87,946	1,672	942	7.89	58.0	0.087	1.10	56.3
	東海北陸	1,035,821	82,871	37,251	589	423	8.00	45.0	0.057	0.71	71.8
	近 畿	963,096	64,399	31,348	626	471	6.69	48.7	0.065	0.97	75.2
	中国四国	563,853	32,290	19,299	406	239	5.73	59.8	0.072	1.26	58.9
	九 州	1,026,709	71,581	47,689	635	531	6.97	66.6	0.062	0.89	83.6
北海道	北海道	382,078	23,666	16,654	372	364	6.19	70.4	0.097	1.57	97.8
東 北	青 森	124,376	11,338	8,657	105	101	9.12	76.4	0.084	0.93	96.2
	岩 手	193,907	14,558	11,506	217	204	7.51	79.0	0.112	1.49	94.0
	秋 田	90,084	10,939	8,047	128	104	12.14	73.6	0.142	1.17	81.3
	宮 城	286,676	21,492	15,612	425	410	7.50	72.6	0.148	1.98	96.5
	山 形	222,927	21,933	16,272	212	198	9.84	74.2	0.095	0.97	93.4
	福 島	127,525	11,422	8,743	158	133	8.96	76.5	0.124	1.38	84.2
関 東 甲 信 越	茨 城	168,198	18,979	13,655	227	185	11.28	71.9	0.135	1.20	81.5
	群 馬	131,391	10,765	5,753	116	102	8.19	53.4	0.088	1.08	87.9
	栃 木	84,667	6,336	4,380	85	83	7.48	69.1	0.100	1.34	97.6
	埼 玉	96,089	6,802	3,709	78	69	7.08	54.5	0.081	1.15	88.5
	千 葉	273,959	29,653	18,800	349	110	10.82	63.4	0.127	1.18	31.5
	東 京	314,029	19,843	9,474	169	155	6.32	47.7	0.054	0.85	91.7
	神奈川	371,438	24,761	6,477	129	48	6.67	26.2	0.035	0.52	37.2
	山 梨	64,421	4,487	3,050	47	44	6.97	68.0	0.073	1.05	93.6
	長 野	95,442	9,845	7,221	67	7	10.32	73.3	0.070	0.68	10.4
	新 潟	322,803	20,163	15,427	405	139	6.25	76.5	0.125	2.01	34.3
東 海 北 陸	富 山	83,957	5,516	3,710	82	61	6.57	67.3	0.098	1.49	74.4
	石 川	65,141	6,366	5,161	88	83	9.77	81.1	0.135	1.38	94.3
	福 井	45,595	3,448	2,177	50	47	7.56	63.1	0.110	1.45	94.0
	静 岡	218,253	16,299	7,639	112	88	7.47	46.9	0.051	0.69	78.6
	愛 知	328,027	27,476	7,963	127	53	8.38	29.0	0.039	0.46	41.7
	三 重	88,310	4,343	2,139	33	32	4.92	49.3	0.037	0.76	97.0
	岐 阜	206,538	19,423	8,462	97	59	9.40	43.6	0.047	0.50	60.8

胃がん検診		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 胃癌 発見数	E D票 回収数	B / A 要 精検率	C / B 精検 受診率	D / A 胃癌 発見率	D / B 適中度	E / D D票 回収率
		C I 票 間接、直接、デジタル撮影の合計				X線造影					
近畿	滋賀	90,074	5,398	2,337	41	39	5.99	43.3	0.046	0.76	95.1
	奈良	30,514	1,390	648	28	22	4.56	46.6	0.092	2.01	78.6
	京都	185,075	19,050	5,206	85	38	10.29	27.3	0.046	0.45	44.7
	大阪	388,724	22,185	12,004	230	155	5.71	54.1	0.059	1.04	67.4
	和歌山	28,623	2,131	1,288	22	18	7.45	60.4	0.077	1.03	81.8
	兵庫	240,086	14,245	9,865	220	199	5.93	69.3	0.092	1.54	90.5
中国四国	鳥取	29,139	2,118	1,400	22	12	7.27	66.1	0.076	1.04	54.5
	島根	40,487	3,298	2,063	47	43	8.15	62.6	0.116	1.43	91.5
	岡山	135,565	5,878	2,286	44	7	4.34	38.9	0.032	0.75	15.9
	広島	101,527	5,259	3,213	82	24	5.18	61.1	0.081	1.56	29.3
	山口	3,588	541	425	6	0	15.08	78.6	0.167	1.11	0.0
	香川	32,245	1,999	1,788	45	42	6.20	89.4	0.140	2.25	93.3
	徳島	27,055	1,810	1,315	29	21	6.69	72.7	0.107	1.60	72.4
	愛媛	81,497	5,918	4,544	93	63	7.26	76.8	0.114	1.57	67.7
	高知	112,750	5,469	2,265	38	27	4.85	41.4	0.034	0.69	71.1
九州	福岡	428,735	25,848	13,759	200	167	6.03	53.2	0.047	0.77	83.5
	佐賀	33,950	4,554	3,731	61	61	13.41	81.9	0.180	1.34	100.0
	長崎	36,218	3,179	2,535	38	26	8.78	79.7	0.105	1.20	68.4
	熊本	150,838	8,146	5,920	96	96	5.40	72.7	0.064	1.18	100.0
	大分	101,061	5,350	3,965	45	21	5.29	74.1	0.045	0.84	46.7
	宮崎	53,387	4,101	3,127	52	43	7.68	76.2	0.097	1.27	82.7
	鹿児島	131,373	13,420	11,290	121	105	10.22	84.1	0.092	0.90	86.8
	沖縄	91,147	6,983	3,362	22	12	7.66	48.1	0.024	0.32	54.5

大腸がん検診		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 大腸癌 発見数	E D票 回収数	B / A 要 精検率	C / B 精検 受診率	D / A 大腸癌 発見率	D / B 適中度	E / D D票 回収率
		C I 票 検便法				検便法					
全 国		6,266,496	364,657	190,568	7,418	5,552	5.82	52.3	0.118	2.03	74.8
支 部 別	北海道	244,543	18,254	12,851	490	488	7.46	70.4	0.200	2.68	99.6
	東 北	1,009,322	58,183	39,179	1,565	1,437	5.76	67.3	0.155	2.69	91.8
	関東甲信越	1,707,826	99,596	44,107	2,042	893	5.83	44.3	0.120	2.05	43.7
	東海北陸	857,211	51,179	20,346	741	573	5.97	39.8	0.086	1.45	77.3
	近 畿	891,005	44,343	18,883	779	714	4.98	42.6	0.087	1.76	91.7
	中国四国	424,838	24,062	13,778	483	348	5.66	57.3	0.114	2.01	72.0
	九 州	1,131,751	69,040	41,424	1,318	1,099	6.10	60.0	0.116	1.91	83.4
北海道	北海道	244,543	18,254	12,851	490	488	7.46	70.4	0.200	2.68	99.6
東 北	青 森	131,097	7,207	5,109	175	168	5.50	70.9	0.133	2.43	96.0
	岩 手	207,220	10,897	7,593	389	362	5.26	69.7	0.188	3.57	93.1
	秋 田	104,996	6,653	4,293	212	195	6.34	64.5	0.202	3.19	92.0
	宮 城	176,413	9,198	5,892	321	282	5.21	64.1	0.182	3.49	87.9
	山 形	248,713	14,010	9,212	287	251	5.63	65.8	0.115	2.05	87.5
	福 島	140,883	10,218	7,080	181	179	7.25	69.3	0.128	1.77	98.9
関 東 甲 信 越	茨 城	167,757	11,242	7,488	301	250	6.70	66.6	0.179	2.68	83.1
	群 馬	139,148	7,297	3,316	211	131	5.24	45.4	0.152	2.89	62.1
	栃 木	90,375	4,960	2,892	128	124	5.49	58.3	0.142	2.58	96.9
	埼 玉	81,726	5,983	2,760	161	140	7.32	46.1	0.197	2.69	87.0
	千 葉	113,892	8,479	3,738	255	8	7.44	44.1	0.224	3.01	3.1
	東 京	196,144	12,000	5,052	160	147	6.12	42.1	0.082	1.33	91.9
	神奈川	492,194	25,581	4,249	266	25	5.20	16.6	0.054	1.04	9.4
	山 梨	116,241	7,349	3,875	98	29	6.32	52.7	0.084	1.33	29.6
	長 野	150,366	9,091	5,347	186	17	6.05	58.8	0.124	2.05	9.1
	新 潟	159,983	7,614	5,390	276	22	4.76	70.8	0.173	3.62	8.0
東 海 北 陸	富 山	66,908	4,217	2,414	86	59	6.30	57.2	0.129	2.04	68.6
	石 川	75,217	4,125	2,811	111	110	5.48	68.1	0.148	2.69	99.1
	福 井	42,428	1,991	1,523	88	76	4.69	76.5	0.207	4.42	86.4
	静 岡	241,958	13,533	6,549	241	182	5.59	48.4	0.100	1.78	75.5
	愛 知	126,512	7,594	1,992	58	40	6.00	26.2	0.046	0.76	69.0
	三 重	124,886	9,083	2,362	54	47	7.27	26.0	0.043	0.59	87.0
	岐 阜	179,302	10,636	2,695	103	59	5.93	25.3	0.057	0.97	57.3

大腸がん検診		A 受診者数	B 要 精検者数	C 精検 受診者数	D 大腸癌 発見数	E D票 回収数	B / A 要 精検率	C / B 精検 受診率	D / A 大腸癌 発見率	D / B 適中度	E / D D票 回収率
		C I 票 検便法				E 検便法					
近畿	滋賀	52,146	3,698	2,818	148	148	7.09	76.2	0.284	4.00	100.0
	奈良	18,195	1,091	313	10	2	6.00	28.7	0.055	0.92	20.0
	京都	352,218	15,954	2,221	37	34	4.53	13.9	0.011	0.23	91.9
	大阪	246,094	12,102	6,860	285	248	4.92	56.7	0.116	2.35	87.0
	和歌山	16,944	953	471	20	16	5.62	49.4	0.118	2.10	80.0
	兵庫	205,408	10,545	6,200	279	266	5.13	58.8	0.136	2.65	95.3
中国四国	鳥取	35,805	2,033	1,270	55	34	5.68	62.5	0.154	2.71	61.8
	島根	41,112	1,654	967	68	66	4.02	58.5	0.165	4.11	97.1
	岡山	34,418	3,036	1,861	38	0	8.82	61.3	0.110	1.25	0.0
	広島	42,010	2,500	1,463	64	63	5.95	58.5	0.152	2.56	98.4
	山口	1,743	132	57	3	3	7.57	43.2	0.172	2.27	100.0
	香川	29,048	2,080	1,604	34	29	7.16	77.1	0.117	1.63	85.3
	徳島	24,179	1,832	1,136	22	12	7.58	62.0	0.091	1.20	54.5
	愛媛	98,342	6,232	4,182	128	87	6.34	67.1	0.130	2.05	68.0
	高知	118,181	4,563	1,238	71	54	3.86	27.1	0.060	1.56	76.1
九州	福岡	405,973	22,366	10,806	436	358	5.51	48.3	0.107	1.95	82.1
	佐賀	49,864	4,125	2,815	108	108	8.27	68.2	0.217	2.62	100.0
	長崎	43,557	3,076	2,172	77	57	7.06	70.6	0.177	2.50	74.0
	熊本	231,909	13,893	10,094	243	238	5.99	72.7	0.105	1.75	97.9
	大分	127,188	7,987	4,918	137	72	6.28	61.6	0.108	1.72	52.6
	宮崎	32,583	2,285	1,427	52	40	7.01	62.5	0.160	2.28	76.9
	鹿児島	103,402	7,814	5,800	148	144	7.56	74.2	0.143	1.89	97.3
	沖縄	137,275	7,494	3,392	117	82	5.46	45.3	0.085	1.56	70.1

本稿で発表できなかった集計資料は、平成22年度消化器がん検診全国集計資料集（1部3,000円，送料別）としてまとめてありますので、ご希望の方は学会事務局までお申し込み下さい。